

JIS

電車線路用がいし

JIS E 2301 : 2019

(JPIMA/JSA)

令和元年 8 月 20 日 改正

日本産業標準調査会 審議

(日本規格協会 発行)

日本産業標準調査会標準第一部会 構成表

	氏名	所属
(部会長)	酒井 信介	横浜国立大学
(委員)	伊藤 弘	国立研究開発法人建築研究所
	宇治 公隆	首都大学東京 (公益社団法人土木学会)
	大石 美奈子	公益社団法人日本消費生活アドバイザー・コンサルタント・相談員協会
	大瀧 雅寛	お茶の水女子大学
	奥田 慶一郎	一般社団法人日本建材・住宅設備産業協会
	奥野 麻衣子	三菱UFJ リサーチ&コンサルティング株式会社
	鎌田 実	東京大学
	木村 一弘	国立研究開発法人物質・材料研究機構
	佐伯 洋	一般社団法人日本鉄道車輛工業会
	椎名 武夫	千葉大学
	高田 祥三	早稲田大学
	高増 潔	東京大学
	千葉 光一	関西学院大学
	寺澤 富雄	一般社団法人日本鉄鋼連盟
	奈良 広一	独立行政法人製品評価技術基盤機構
	西江 勇二	一般財団法人研友社
	福田 泰和	一般財団法人日本規格協会
	星川 安之	公益財団法人共用品推進機構
	槇 徹雄	東京都市大学
	三谷 泰久	一般財団法人日本船舶技術研究協会
	棟近 雅彦	早稲田大学
	村垣 善浩	東京女子医科大学
	山内 正剛	国立研究開発法人量子科学技術研究開発機構放射線医学総合研究所
	和辻 健二	一般社団法人日本自動車工業会

主 務 大 臣：経済産業大臣 制定：昭和 34.3.30 改正：令和元.8.20

官 報 掲 載 日：令和元.8.20

原 案 作 成 者：日本電磁器協会

(〒461-0002 愛知県名古屋市東区代官町 39-18 日本陶磁器センター内 TEL 052-935-7231)

一般財団法人日本規格協会

(〒108-0073 東京都港区三田 3-13-12 三田 MT ビル TEL 03-4231-8530)

審 議 部 会：日本産業標準調査会 標準第一部会 (部会長 酒井 信介)

この規格についての意見又は質問は、上記原案作成者又は経済産業省産業技術環境局 国際標準課 (〒100-8901 東京都千代田区霞が関 1-3-1) にご連絡ください。

なお、日本産業規格は、産業標準化法の規定によって、少なくとも 5 年を経過する日までに日本産業標準調査会の審議に付され、速やかに、確認、改正又は廃止されます。

目 次

	ページ
1 適用範囲	1
2 引用規格	1
3 用語及び定義	1
4 種類及び記号	3
5 性能	4
6 形状及び寸法	4
7 材料及び組立	4
7.1 材料	4
7.2 組立	5
8 試験方法	5
9 検査	6
10 製品の呼び方	6
11 表示	6
解 説	17

まえがき

この規格は、産業標準化法第 16 条において準用する同法第 12 条第 1 項の規定に基づき、日本電磁器協会（JPIMA）及び一般財団法人日本規格協会（JSA）から、産業標準原案を添えて日本産業規格を改正すべきとの申出があり、日本産業標準調査会の審議を経て、経済産業大臣が改正した日本産業規格である。これによって、**JIS E 2301:1992** は改正され、この規格に置き換えられた。

この規格は、著作権法で保護対象となっている著作物である。

この規格の一部が、特許権、出願公開後の特許出願又は実用新案権に抵触する可能性があることに注意を喚起する。経済産業大臣及び日本産業標準調査会は、このような特許権、出願公開後の特許出願及び実用新案権に関わる確認について、責任はもたない。

注記 工業標準化法に基づき行われた申出、日本工業標準調査会の審議等の手続は、不正競争防止法等の一部を改正する法律附則第 9 条により、産業標準化法第 12 条第 1 項の申出、日本産業標準調査会の審議等の手続を経たものとみなされる。

電車線路用がいし

Insulators for overhead contact line systems

1 適用範囲

この規格は、電車線路に使用する磁器製懸垂がいし及び支持がいし（以下、がいしという。）について規定する。

2 引用規格

次に掲げる規格は、この規格に引用されることによって、この規格の規定の一部を構成する。これらの引用規格は、その最新版（追補を含む。）を適用する。

- JIS B 0205-4 一般用メートルねじ－第4部：基準寸法
- JIS B 0209-3 一般用メートルねじ－公差－第3部：構造体用ねじの寸法許容差
- JIS B 1173 植込みボルト
- JIS B 1180 六角ボルト
- JIS B 1181 六角ナット
- JIS B 1251 ばね座金
- JIS C 3801-1 がいし試験方法－第1部：架空線路用がいし
- JIS C 3802 電気用磁器類の外観検査
- JIS C 3803 がいし及びブッシング用語
- JIS G 3101 一般構造用圧延鋼材
- JIS G 3506 硬鋼線材
- JIS G 3507-1 冷間圧造用炭素鋼－第1部：線材
- JIS G 3507-2 冷間圧造用炭素鋼－第2部：線
- JIS G 4309 ステンレス鋼線
- JIS G 5502 球状黒鉛鋳鉄品
- JIS G 5705 可鍛鋳鉄品
- JIS H 2107 亜鉛地金
- JIS R 5210 ポルトランドセメント

3 用語及び定義

この規格で用いる主な用語及び定義は、JIS C 3803 によるほか、次による。

3.1

電車線路用支持がいし

電車線路のトンネル、こ線橋などに使用する円板形固定がいし。